



軽井沢大賀ホール3月コンサートスケジュール



とき	開演	公演内容	問い合わせ
21日(日)	13時30分	軽井沢中学校吹奏楽部 春のコンサート2021 【入場無料・未就学児入場可】	軽井沢中学校 ☎45-6180 (堀口)

※休館日：1日(月)・8日(月)・15日(月)・22日(月)・23日(火)・29日(月)

※入場無料の公演は事前申し込み不要です。

※新型コロナウイルス感染状況等により、公演が「中止」もしくは「延期」となる場合があります。

※各公演の問い合わせは、主催者へお願いします。

【公演開催会場】 軽井沢大賀ホール ☎42-0055 (9時から18時まで)

ホームページアドレス <http://www.ohgahall.or.jp>

【チケット申し込み】 軽井沢大賀ホールチケットサービス ☎31-5555 (休館日を除く10時から18時まで)

兄弟それぞれのがんばり



数年前と比較すると「発達障がい」に対する理解や支援がだいぶ広まってきています。とは言え、一概に「発達障がい」と言っても、ADHD(注意欠如・多動性障害)、ASD(自閉症スペクトラム障害)、LD(学習障害)のように、様々な症状があります。また、同じ診断を持っていて障がいの特性としては共通のものがあつたとしても、子ども一人ひとり状態は異なります。だからこそ、その子ども一人ひとりのニーズを理解して、その時々に必要な対応をしながらできることを増やしていくことが大切になってくるのです。

ある子どもがいる場合、家族としては同じように接しているつもりでも、子どものニーズに応じた対応をすることで、「どちらかだけズルイ!」となつてしまつてもあります。

例えば、日常的なことでは、朝起きて準備をして登校する、ということであっても、強いかたわりや時間の見通しが立てられないような特性があつた場合には、家族の目や手はその子どもにかけられることになり、一緒に準備をしたり、丁寧に声をかけたりと、あらゆる手を使いながら、その日の様子で対応を変えて登校を促します。一方の兄弟は、自分のペースで朝の準備をして登校していきます。兄弟の状況を子どもなりにわかっているとしても、自分にとっては当たり前のことをするだけで褒められたり、親が喜んでいる姿をみると「なんで〇〇だけ」と感じてしまうことは少なからずあるようです。「わかつてはいるけど、自分だって甘えたい、ほめられたい」と感じるのは、子どもならば当然のことです。

と、突如としてもう一方の兄弟が赤ちゃん返りのようにダダをこねてみたり、今までできていたことができなくなる等の状態が一時的に起こることがあります。こうなつた場合に「できると思つて、頼りすぎていたかな」「当たり前前にできていたから、ほめることや頑張り目に向いていかなかったかな」「これから(もう一方の兄弟に)どう接していけばいいか」と、相談にみえる家族も多くいます。

発達障がいの有無に関わらず、子どもたちの頑張りはずれです。親としては、同じように子ども達の頑張りを見ているつもりでも、いわゆる手のかかる方に目がいきがちで、小さな成長や達成できたことをほめたりします。だからこそ、もう一方の兄弟については、当たり前前にできていることを「続けてくれてる」そのプロセスをほめていくことも大切なことなのです。

できることが違つたため、同じようなほめ方をしても通じないこともあります。兄弟それぞれ違つた分、それぞれの頑張りを見つめて、ほめるポイントを見つけて、視点も変えていくことができると思います。